

フクタニニュー

発行



(株)フクタニ

砕石部

新たな気持ちで！



フクタニニューも4回目の新年度を迎えました。4年前、これからこの砕石業界も冬の時代が来るのである。この危機感から自分達は、何をすべきか「何が出来るのか」を考えた。一まじめに「何が出来るのか」を今も一度、自分でまいる。というのを、今も一度、自分達の原点は何だったのかを考え、皆様から求められる役割、機能を再確認し、新たな気持ちで再スタートをします。新たな気持ちで再スタートをします。ご助言を頂

春がきた～砕砂プラント生産再開～



3月に入り、冬季閉鎖していた砕砂プラントの生産再開に向けて準備を開始。17日より生産を再開いたしました。当社の砕砂プラントは湿式水洗方式で、冬季は凍結によるトラブルが多発するため通常1、2月は稼働を停止しています。

また、砕砂プラントの整粒機のローター交換を実施しました。ローターは本機の心臓部でレコードプレイヤーのターンテーブルのようなものが、高速で回転しています。その中に原料を投入し、石が外周を高速で回ることによって角がとれるしくみの機械です。

新年度からも準備万端整えて安定供給に努めてまいります。

見えざるもの

免許センターで、免許の更新手続きをした。5年間のゴールド免許を保有していたのだが、1時間の講習を受ける身となり次回は寂しいかな青である。悔い改めようと講習は前から2列目で真剣に受講し晴れて免許証をいただいたのだがそれを見て驚いた『いったいこりゃどこのオヤジだい。』前々から免許証の写真は人相が悪く写るとうすうす感じてはいたのだが、まるで指名手配犯である。

しかし、考えてみると、自分の顔は日常ほとんど見ていないのだ。毎日鏡は見ているのだが、髭を剃る時は、剃り残しがないかが気になるし、髪をなでる時は、白髪の多少を見ているのであり、顔を全体として見ることはほとんどない。

なにげなくぼんやり見ていることで、見過ごしていることがいかに多いことか。新しい免許証を見て気が付いた

芸術



3月22日、下斗米千寿子のヴァイオリンリサイタルを見させて頂いた。下斗米さんは二戸出身で、ウィーンに留学し青少年音楽連合（ジュネス）ワールドオーケストラ日本代表に選ばれるなど、世界的にも優れたヴァイオリン演奏者の一人である。下斗米さんの演奏は、素晴らしい演奏であり、あの「手さばき」「指さばき」「弓さばき」の素晴らしいこと、ヴァイオリンの生演奏を始めて聞いた私はとても感動した。演奏には力強さとスピードがあり、一生懸命に弾く姿を見て何事にも全力で取り組むことは素晴らしいことだと感じました。



編集後記

記事にもありますが、この地を出身としなない配車係の私にとっては、福田運送の出堀太さんことデボちゃん存在は『ナビ』のような人でした。配車になったことのない場所も知っていて、いつも丁寧に教え、助けてくれました。とても感謝しています。

送別会に出席して、私もこう思われ惜しまれて定年を迎えられたら・・・などと思いました。取敢えずまだまだ先ですがね

(-_-)

受け継ぐ

福田運送の出堀太さんが3月末で定年退職となりました。

運転手の場合、出社してハンドルを握ると帰社するまで基本的に会社を代表しての一人作業になります。安全で迅速な運送という使命を背負い、一人一人の地道な努力が全体としての評価につながる業種です。

出堀さんは入社以来22年間そういう努力を積み重ねていただきました。その遺伝子を大切に受け継いでいこうと思います。



通称『デボちゃん』
お疲れ様でした！



新コーナー



今月号から砕石にまつわる技術についてのおもやまをお伝えする紙面をいただくことになりました。まずは形からと思い『安でsite』という標題をつけました。ご存知のとおりアンデサイト (Andesite)は和名を安山岩といい、アンデス山脈の石という意味で我社の原石なのですが、「安」は安全・安心の「安」、また安らぎの「安」でもあります。そしてSiteは現場とか位置という意味で「安山岩で現場も会社も安らかに！」みたいな感覚で石のこと、山のこと、人のこと、モノのこと、色んなことを御紹介や御提供できればと思います。と思いつつ導入を書いていたら紙面がなくなってきました。

(計画的なのですが・・・)
今月号は予告編ということで、安山岩の写真を紹介だけして、本論は次号からにします。



安山岩
andesite
Sun Jose Volcano, Chile